

さがみはら  
地球温暖化対策協議会

## 会員紹介

合計 137 (令和3年12月10日現在)  
個人 46名 事業者 55社 団体 36団体  
会員紹介は掲載希望の会員から順次掲載します。

中央大学学員会 相模原白門会

平成25年3月10日に設立し、現在約100名の相模原を中心に在住する或いは相模原で働く卒業生が年齢を超えて交流を深めるとともに、市民さくら(わかば)まつり、橋本七夕まつり、境川クリーンアップ作戦への参加、無料講演会の実施など地域活動を行なっております。  
これからも会員が互いに協力し、地域と交流をしながらさがみはらで幸せに暮らし、働ける環境をつくっていく活動を増やしていこうと思います。

<https://pcs-nisso.com/hakumon/>



## さがぼーくんのぬいぐるみと エコバッグを進呈します!

さがぼーくんのぬいぐるみと地球にやさしい、環境にやさしい、さがぼーくんのエコバッグを1,000円以上の寄附をいただいた方に差し上げることになりました。  
レジ袋の有料化に伴って必需品になった買物袋ですが、このバッグはペットボトル素材でできたポーチ付のエコバッグです。  
さがぼーくんのぬいぐるみは、会員さんの手作りです。"STOP 地球温暖化"を願っています。



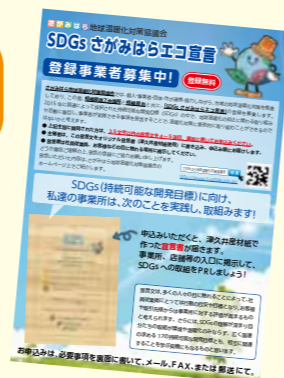
寄附のお申し込みは、  
当協議会事務局にご連絡ください。

## 出前講座実施中

さがみはら地球温暖化対策協議会では、「家庭の省エネ対策」や「気象現象から考える防災の心得」などをテーマにした無料出前講座を実施しています。  
ぜひ自治会、公民館、こどもセンターなどの事業にご活用ください。また親子向け、大人向け、子ども向け、それらをいくつか組み合わせた講座も可能です。オンラインの講演会も実施しておりますのでお気軽に当協議会事務局にお問い合わせください。

## エコ宣言 登録募集中!

SDGs さがみはら  
エコ宣言  
ご応募ありがとうございます  
ございます!



さがみはら地球温暖化対策協議会の調査・研究部会の取り組みの一つで、温暖化対策に特化した「SDGs さがみはらエコ宣言」の活動があります。  
貴事業所、団体でSDGsの取り組みを宣言していただくと津久井産材紙を使用した宣言書を作成し、お届けいたします。ぜひ、社員従業員、お客様の目に見えるところに掲示してSDGsの取り組みを進めていきましょう。

## 会員募集中!!

さがみはら地球温暖化対策協議会に入会して温暖化対策と一緒に取り組みませんか?当協議会の目的に賛同する個人・事業者・団体はどなたでも入会していただけます。また、市外の方の入会も可能です。

会費 1口年/1,000円  
個人会員1口 事業者/団体会員2口以上

## さがみはら地球温暖化対策協議会

〒252-0236 相模原市中央区富士見1-3-41  
相模原市立環境情報センター内  
TEL・FAX: 042-753-9550  
Eメール: info@s-ontaiyou.jp  
HPアドレス: <http://www.s-ontaiyou.jp/>



# さがぼー通信

第16号  
発行日  
令和4年3月

さがみはら地球温暖化対策協議会は、個人・事業者・団体・市が連携・協力しながら、日常生活に起因する温室効果ガスの排出削減などのために必要な対策の協議や活動を実施し、地域の地球温暖化対策を推進していきます。

さがみはら  
地球温暖化対策協議会

〒252-0236  
相模原市中央区富士見1-3-41  
相模原市立環境情報センター内  
電話 / ファクス 042-753-9550  
Eメール info@s-ontaiyou.jp  
●<http://www.s-ontaiyou.jp/>

## 減らそう! 食品ロス!

### ? 食品ロスとは?

期限切れや食べ残しなどにより、本来食べられるはずだったのにも関わらず廃棄される食品を食品ロスといいます。  
令和元年の国内の発生量は年間約570万トンといわれ、これは世界の食糧支援量約420万トンの約1.4倍に相当します。

また、令和2年度の相模原市の家庭での食品ロス量はなんと1万2,459トン!!  
「もったいない」の気持ちを大切に、おいしく楽しく、食べきり・使いきりを実践しましょう。



DOWN



市が実施しているごみ質調査で、過去の調査の際に撮影されたもの



分別戦隊シゲンジャー銀河©相模原市

なまものや、  
自家製のは  
ダメだよ!



レモンちゃん©相模原市

## 食べきれない食品はフードドライブへ!

### ? フードドライブとは?

家庭で余っている食品を持ち寄り、フードバンクや福祉施設等に寄付することで、食べ物を必要としている人に届ける活動をフードドライブといいます。

相模原市には常設窓口が4か所あります。  
また、民間企業でも活動しています。  
詳しくはこちら→



### ~フードドライブに持ち込めるもの~

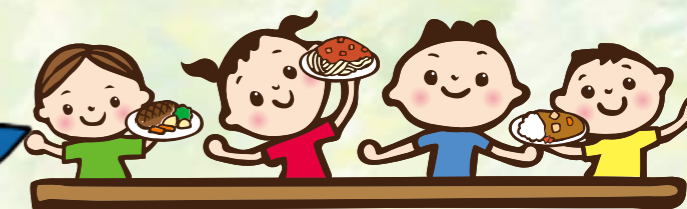
- 1 市販の商品であるもの
- 2 包装が未開封であるもの
- 3 常温保存ができるもの
- 4 賞味期限の表示があり、2か月以上期限が残っているもの(米、砂糖等、表示義務がないものを除く)

OK!

ご家庭で眠っている  
食品がありましたら、  
ぜひお持ちください!



市の各受け入れ窓口で集めた食品は、  
フードバンク活動団体を通して、こども  
食堂などで利用されます。



さがぼーチャンネルからのご紹介

# さがぼーチャンネル14 星空のランタンを作ろう!



太陽光発電で光るLEDライトを光源としたランタンを作りましょう。紙コップや紙皿など身近な材料で作ることができます。太陽エネルギーで作った電気で、お部屋で美しい星空を楽しんでください！  
さがぼーチャンネル3「ソーラーランタン工作」も見てくださいね。



さがぼーチャンネルはこちら



## No CO<sub>2</sub> November 地球のみんなで地球にいいこと考えよう

相模原市立環境情報センターの「No CO<sub>2</sub> November地球のみんなで地球にいいこと考えよう」のイベントでオンライン講座を実施しました！  
小学生とその家族の方々にご参加いただき「地球温暖化〇×クイズ」と紙コップとソーラーガーデンライトを使用したランタンを作りました。  
参加されたお子さんは地球温暖化〇×クイズでは真剣に話を聞き、親子で楽しく工作に取り組んでくれました。



## 日産自動車株式会社 相模原部品センター SDGsの取組紹介

日産自動車株式会社 相模原部品センターは、自動車の補修部品（タイヤ、バンパーなど）や新車購入時にあわせて購入いただいているカーライフ商品（ナビ、フロアマットなど）などを調達して、国内及び海外に向けて出荷しています。常時約40万点の部品を扱っております。



当事業所は、下記内容を相模原市へ『SDGsさがみはらエコ宣言』として登録し、日々の活動に取り組んでいます。

- 【SDGsさがみはらエコ宣言】
- 7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
- 12. つくる責任、つかう責任
- 13. 気候変動に具体的な対策を

### 【主な活動内容】

『7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに』  
新規設備導入時や照明機器の更新時は積極的に省エネ設備やLED照明等を導入しています。中でも、空調設備では『重油ボイラー』や『都市ガスボイラー』を廃止し、『電気式ボイラー』へ更新を行いました。

### 『12. つくる責任、つかう責任』

「廃棄物の削減促進」として、廃棄する木材パレットを航空会社で再利用したり、輸入パレットをチップ化し、動物園の動物達の寝床に再利用したりしています。他にも使用済みの木材を分解し、野菜の堆肥として再利用する事等も行っています。

### 『13. 気候変動に具体的な対策を』

当社は、全社で『2050年 クルマのライフサイクルでのカーボンニュートラル実現』を目指し、カーボンニュートラルの取り組みを推進し日々活動しています。

## さがぼーくん 新型コロナウイルス禍の「基本的な感染対策」の再確認ポイントを教えて!

Part 3



### Q.1 家庭や職場で最も重要な感染対策は？

一番は「換気」です。浮遊している飛沫を少しでも新鮮な空気を取り入れてウイルス量を減少（希釈）させるためです。定期的に換気することも大切ですが、常に部屋のドアを数センチ開けて扇風機、サーキュレーターで空気を入れ換えることや換気扇（台所、トイレ、お風呂）を使用して24時間換気を行います。

### Q.2 飛沫の盲点は？

飛沫は会話、くしゃみ、咳だけではなく、飛沫は洗面所やトイレを使用した時にも飛散します。①洗面台でうがいをする時や歯磨きで口をゆすいだ時に勢いよく吐き出すと飛散します。うがいでなく口をゆすぐだけにします。口に含んだ水は洗面台に静かに吐き出します。②水洗トイレで水を流す時、蓋をしても飛沫は舞い上がるので5分以上換気をして使用します。

### Q.3 不織布マスクの効果は？

マイクロ飛沫で感染するウイルスはマスクの布や上部からすり抜けます。特に鼻の両脇から多く飛散するので金具が入っているマスクでしっかり固定します。またマスク越しでも大きな声で会話をするのはなく小さな声で話します。



### Q.4 自宅療養の取り組み方は？

患者さんは筆談、メール、SNSを使用して出来るだけ声を出さないようにします。飛沫が出なければほぼ感染はしません。咳が出る時は三重、四重に折り畳んだ濡れタオルに口を当てて咳をすると飛沫は最小限に抑えられます。

※新型コロナウイルス感染対策の詳細な解説は、さがみはら地球温暖化対策協議会のHPまたはQRコードから「さがぼー通信」の第13号、第14号をご覧ください。

## 【会員の主な取組を紹介します！】

出前講座 星が丘公民館  
令和3年12月18日(土)

星が丘公民館でさがみはら地球温暖化対策協議会の出前講座「ソーラーランタンを作ろう！～〇×クイズ～」を開催しました。  
受付開始1時間半であっという間に定員に達したそうです。当日28名の参加がありました。暗幕を引き、真っ暗な中でソーラーランタンが灯った瞬間、子どもたちが「ワー！きれい！」と歓声をあげていました。



出前講座 橋本公民館  
令和4年2月3日(木)

公開講座兼橋本公民館運営協議会研修  
～いまそこにある環境危機～を実施しました。  
講師は、特定非営利活動法人アース・エコ 桑原 清 氏。地球温暖化のしくみや、気候変動と気象災害、相模原市のハザードマップの見方などクイズを取り入れて分かりやすくお話をいただきました。橋本公民館運営協議会の方々は災害時に地域のために何が出来るか常に考えておられ、力強く感じました。



会員研修 尾瀬の自然に学ぼう  
令和4年1月24日(月)

講師は東京パワーテクノロジー(株) 齊藤 敦氏(尾瀬登山ガイド・尾瀬自然解説ガイド)をお迎えして、「自然豊かな尾瀬の自然に学ぼう」研修会を行いました。当日は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で講師がオンラインでの参加となり、会場参加の方々も急遽オンライン参加となりました。



アンケート(一部抜粋)より  
●自然の景観は、動植物の生態や気候の微妙なバランスの上に成り立っており、動植物の生態系の基本となる気候変動の重要性について認識を新たにしました。  
●森林の環境保全について、大変な努力と時間・費用並びに意欲の継続が必要である事を改めて考える機会となりました。  
アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

「こもれびの森を体験してみよう」  
令和4年1月16日(日)

実施団体：NPO法人相模原こもれび  
こもれびの森、イヌシテ広場(南区大野台8丁目16)で行われました。当日は薪割り実習(1束持ち帰り)、伐木(ばつぼく)を行いました。参加者はこもれびの森の森林浴を思うぞんぶん楽しんだようです。

